

## 2007 年度 IMS ルール 変更注意点

### Adjustable Forestay

2006 年度まで: Spreader が後ろに Bend させて、さらに Tension の調整可能な Forestay を装備する艇の場合、  
2006 年 Rule においては Back Stay Control をロックしなければならない。  
2007 年の変更: Adjustable Head stay として認めることになりました。

### Age Allowance

Age アローワンスが 2007VPP より 各年度 0.065% (2006 年度までは 0.05%) に変更されます。  
最大値は 20 年で 1.3% です。

### Spinnaker Pole and Spinnaker Tack Point (Rule 804)

レース中、対称、非対称 Spinnaker とともに搭載しない選択肢が追加されています。

### Sail Default Minimum Size: JIB

2007 年度より Jib については Default サイズを 90% J までに引き下げることになりました。  
IMS 艇におかれましては適用が考えられる場合はないと思えますが一応確認ください。

### Sail Default Minimum Size: Spin (Symmetric, Asymmetric Spin)

2007 年の変更で、Default Size より小さな Spinnaker については実測面積が Default の 50% から 98% の範囲  
については、実際の計測値と Default の 平均を採用、50% 以下の Spinnaker については Default の 75% とするよう  
VPP が変わりました。この変更は実測値の入力が有る場合のみ適用されます。

Default より小さなセールを使用している各艇におかれましては、有利なレーティングが計算される可能性があります  
、セールメジャーもしくは日本 ORC 協会に問い合わせください。セールの計測値がある場合には試算も受け付  
けます。

### Sail Inventory

2007VPP より使用する全てのセール計測値をデータとして入力することにより、Jib、対称 Spin、非対称 Spin のそれ  
ぞれの最大面積を VPP が算出し、最大面積のセール計測値を用いてレーティングの計算を行うこととなります。

現行 Rule では Sail Area の計算について、複数枚ある Sail について各項目の最大値(最大値が別の Sail  
から得られる場合がある)を採用しています。その各項目の最大値から VPP 計算される Sail の面積は 実際の  
最大面積を持つ Sail 1 枚より当然大きくなるわけで、それぞれの最大値が 1 枚のセールのものであれば、不利  
にならないが、複数枚にわたるならば、仮想的に大きなセール面積を算出するため、レーティング上、不利とな  
ります。

2006 年の計測値のまま更新の希望が出た場合、昨年同様、使用セールの各計測値の Max. 値で計算されま  
すが、自艇を確認のうえ全てのセールデータを添付して試算もしくは、更新または変更する事が可能です。基本的  
には全ての Spin のデータを入力する事になりました。

不明の場合もしくは、セール計測の必要な場合には、セールメジャーに相談ください。

### Jib Roach Measurement

2007IMS ルールより Inventory に 110% 以上の Jib があっても 110% 以下の Jib には Roach が認められるようになりま  
した。2007 年からは、2006 年までの JR 値ではなく、Girth 計測(JGT, JGU, JGM, JGL)を行います。計測は、110%  
以下の Jib に対してのみです。(Rule: 812.1)、よって新規に 110% 以下の Jib を作成する場合などに適用されますの  
で、配慮ください。

注)更新については IMSRule 813 で記述。

### Head Board

2007 ルールより Jib のヘッドボード(JH)が使用可能となりました。ただし、100mm 以下もしくは JL の 1% 以下の制限  
がある。もし、それを超えた場合、超過長さの 5 倍の値が JL に加算されます。(Rule: 812.4 削除 813.3)。

以上